

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東  
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	42,773	7.8	2,676	74.8	2,375	△7.5	2,295	△1.1
2023年12月期第3四半期	39,660	14.5	1,530	—	2,569	19.0	2,321	707.7

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 1,691百万円(△36.0%) 2023年12月期第3四半期 2,641百万円(73.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	48.13	—
2023年12月期第3四半期	48.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	100,417	29,682	28.4
2023年12月期	93,154	27,428	29.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 28,526百万円 2023年12月期 27,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年12月期	—	5.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,380	10.3	6,847	28.2	6,316	10.0	5,024	6.2	105.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) BT KALAKAUA, LLC、除外 1社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	48,960,000株	2023年12月期	48,960,000株
2024年12月期3Q	1,259,834株	2023年12月期	1,259,834株
2024年12月期3Q	47,700,166株	2023年12月期3Q	47,700,166株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10
3. 補足情報	10
(施行及び受注の状況)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益及び雇用・所得環境の改善並びにコストカット経済から成長型経済への変革など政府による各種政策の効果により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続など海外景気の下振れ懸念が我が国景気を下押しするリスクになるなど、先行きについては不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場及びウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組み、多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

ホテル事業においては、訪日外国人数が2024年9月累計で26百万人(2019年比10.1%増:日本政府観光局「訪日外国人数(2024年9月推計値)」)と引き続き高い水準で推移しております。これらの影響から宿泊稼働率及び宿泊単価が上昇し、総じて安定した状況で推移いたしました。また、2024年6月には米国ハワイ州ホノルルにて「Kaimana Beach Hotel」を運営するBT KALAKAUA, LLCの出資持分の一部を譲り受け、連結子会社となり事業エリアの拡大及び今後の収益拡大に努めました。

婚礼事業及びホテル事業において、受注件数が9,341件(前年同四半期比0.4%増)と微増となり、回復が遅れておりました施行単価についても緩やかに回復しております。また、W&R事業においては、コロナ禍からの回復に遅れが生じている不採算店舗の退店及び事業効率の改善を実施し、今後の収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、42,773百万円(同7.8%増)となり、利益面につきましては、営業利益2,676百万円(同74.8%増)、また、第2四半期に営業外収益へ計上しておりました為替差益1,225百万円について、急激な為替変動の影響により第3四半期では65百万円と大幅に減少したことから、経常利益は2,375百万円(同7.5%減)、特別利益において前述いたしましたBT KALAKAUA, LLCの出資持分の一部を譲り受け、連結子会社としたことに伴う段階取得に係る差益1,058百万円の計上があったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益については2,295百万円(同1.1%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 婚礼事業

当第3四半期連結累計期間においては、婚礼施行件数が6,401件(同12.9%減)と不採算店舗の閉鎖により減少しましたが、婚礼施行単価が緩やかに回復しており売上高は微増となりました。利益面においては、婚礼施行単価の回復の反面、エネルギーコストや原材料価格の上昇により圧迫され微増となりました。

この結果、当セグメントの売上高は23,855百万円(同1.0%増)、セグメント利益は2,232百万円(同6.3%増)となりました。

#### ② ホテル事業

当第3四半期連結累計期間においては、ホテル婚礼施行件数が1,106件(同5.4%減)と微減となりましたが、宿泊稼働率及び宿泊単価が訪日外国人数の増加から堅調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は16,687百万円(同20.6%増)、セグメント利益は1,931百万円(同109.9%増)となりました。

#### ③ W&R事業

当第3四半期連結累計期間においては、英国式リフレクソロジーサロン「クイーンズウェイ」において不採算店舗の退店等を進め、今後の収益基盤の強化及び事業効率化を推進いたしました。また、複合温泉施設「美楽温泉SPA-HERBS」においては、来館者数及び飲食売上高が過去最高となったことから、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,230百万円(同1.0%増)、セグメント利益は65百万円(前年同四半期はセグメント損失87百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ7,263百万円増加して、100,417百万円となりました。これは主に、BT KALAKAUA, LLCが連結子会社となったことにより土地が8,303百万円及び建物及び構築物が1,602百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ5,008百万円増加して、70,735百万円となりました。これは主に、前述のBT KALAKAUA, LLCが連結子会社となったことにより1年内返済予定の長期借入金が6,732百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ2,254百万円増加して、29,682百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,818百万円及び非支配株主持分が924百万円それぞれ増加したことによるものであります。この結果、負債総額の増加に伴い自己資本比率は28.4%となり前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年8月9日付け「2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,005	17,992
売掛金	1,705	1,697
商品	161	185
原材料及び貯蔵品	390	393
その他	4,029	2,819
貸倒引当金	△40	△44
流動資産合計	25,249	23,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,795	29,397
土地	16,774	25,077
建設仮勘定	743	704
その他（純額）	1,168	1,716
有形固定資産合計	46,481	56,896
無形固定資産		
のれん	745	1,231
その他	877	800
無形固定資産合計	1,622	2,031
投資その他の資産		
投資有価証券	6,029	5,530
敷金及び保証金	7,051	6,956
その他	6,691	5,948
貸倒引当金	△128	△129
投資その他の資産合計	19,644	18,306
固定資産合計	67,747	77,234
繰延資産	157	138
資産合計	93,154	100,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,947	2,142
1年内返済予定の長期借入金	7,118	13,851
1年内償還予定の社債	994	694
未払法人税等	615	67
前受金	3,080	4,669
店舗閉鎖損失引当金	260	-
その他	4,296	4,004
流動負債合計	18,312	25,428
固定負債		
社債	4,709	4,231
長期借入金	36,391	34,496
退職給付に係る負債	409	448
役員退職慰労引当金	1,005	1,042
資産除去債務	4,549	4,571
その他	348	516
固定負債合計	47,413	45,307
負債合計	65,726	70,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	26,393	28,212
自己株式	△892	△892
株主資本合計	26,606	28,425
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	99	177
為替換算調整勘定	488	△79
退職給付に係る調整累計額	2	2
その他の包括利益累計額合計	589	100
非支配株主持分	231	1,156
純資産合計	27,428	29,682
負債純資産合計	93,154	100,417

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	39,660	42,773
売上原価	26,037	26,863
売上総利益	13,622	15,910
販売費及び一般管理費	12,091	13,234
営業利益	1,530	2,676
営業外収益		
受取利息	119	143
保険解約返戻金	-	170
匿名組合投資利益	151	155
出資金運用益	51	-
為替差益	1,081	65
その他	158	60
営業外収益合計	1,562	595
営業外費用		
支払利息	380	585
持分法による投資損失	88	160
その他	55	151
営業外費用合計	524	896
経常利益	2,569	2,375
特別利益		
受取補償金	700	-
固定資産売却益	0	0
段階取得に係る差益	-	1,058
特別利益合計	700	1,058
特別損失		
固定資産除却損	62	1
店舗閉鎖損失	44	235
その他	26	1
特別損失合計	133	238
税金等調整前四半期純利益	3,135	3,195
法人税等	815	898
四半期純利益	2,320	2,296
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,321	2,295



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	2,320	2,296
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	22	78
為替換算調整勘定	89	△683
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	210	-
その他の包括利益合計	321	△604
四半期包括利益	2,641	1,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,614	1,806
非支配株主に係る四半期包括利益	26	△114

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

## ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	2,731百万円	2,619百万円
のれんの償却額	223	198

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	23,587	13,838	2,209	39,635	—	39,635
その他の収益	24	—	—	24	—	24
外部顧客への売上高	23,612	13,838	2,209	39,660	—	39,660
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,383	706	25	2,116	△2,116	—
計	24,996	14,545	2,235	41,776	△2,116	39,660
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,100	919	△87	2,933	△1,402	1,530

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,402百万円には、セグメント間取引消去17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,420百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	23,756	16,687	2,230	42,674	—	42,674
その他の収益	99	—	—	99	—	99
外部顧客への売上高	23,855	16,687	2,230	42,773	—	42,773
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,398	642	7	2,048	△2,048	—
計	25,254	17,330	2,237	44,822	△2,048	42,773
セグメント利益	2,232	1,931	65	4,229	△1,553	2,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,553百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,553百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ホテル事業」において、BT KALAKAUA, LLCの出資持分の一部を譲り受けたことに伴い、中間連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。当該事象により、のれんが684百万円増加しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

## 3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

## (1) 婚礼施行実績

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	7,345	6,401	10,462
ホテル事業	1,169	1,106	1,708
合計	8,514	7,507	12,170

## (2) 婚礼受注状況

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)		前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)	受注件数 (件)	受注件数残高 (件)
婚礼事業	7,975	6,610	7,986	7,116	10,013	5,531
ホテル事業	1,327	1,278	1,355	1,360	1,699	1,111
合計	9,302	7,888	9,341	8,476	11,712	6,642